

鳩尾自治会での説明メモ

日時 2018年8月7日 19時から
場所 萩野公民館 第一会議室
記 合同会社ロコムテック 代表社員 岩崎正昭
出席 一丁目横岩自治会会长 二丁目川崎自治会会长 三丁目自治会会长
四丁目伊藤自治会会长 五丁目品川自治会会长 24街区今井自治会会长

会議メモ

1. まつかけ台、みはる野、鳩尾地区が実証実験のモデル地区に選定された理由
 - 高齢者が比較的多い地域
 - 居住者がまとまって住む地域
 - 実証実験プランのが地域で作成できる。

2. 実証実験の目的

- 地域包括ケア社会のかなめとして地域コミュニティ交通の役割を実証
- 誰でも利用できることを地区に広報する
- 実証実験は無料運行になる。

3. 出席者の意見

- まちづくり計画部で詳しく説明来てほしい。
- 合同会社ロコムテックのこの計画に対する立ち位置を明確に。
- 今回の説明で意図内容が理解できた。
- 助手の目途はあるのか。
　　コミュニケーションカフェ萩野が支援する予定です。
- 地域包括ケア社会の一つの機能とするのであれば厚木市は組織的に
　　横の連携を強めなければならない。
- 自治会が事業の主体になることはないですね。
　　広報活動については協力したい。
- 経過及び予定
 - 7月20日 おぎの生活支援協議会にて説明（萩野公民館）
 - 7月24日 まつかけ台自治会に説明（まつかけ台自治会館）
 - 8月5日 みはる野定例役員会で説明
 - 8月7日 鳩尾1-5丁目及び24街区自治会会长に説明予定
 - 8月8日 厚木市まちづくり計画部交通政策課と打ち合わせ予定

コミュニティカフェ荻野定例会での説明メモ

日時 2018年8月6日 16時から
場所 Tobio ギャラリー
記 合同会社ロコムテック 代表社員 岩崎正昭
出席 土谷代表理事、川原理事、山崎貞理事、白土理事、小林、尾崎、美馬、坪根、近藤、朝倉、牧野、平井、三橋、飯野、奥山、曾根、佐藤、間、八代、粟野、中山、山崎博

会議メモ

1. まつかけ台、みはる野、鳶尾地区が実証実験のモデル地区に選定された理由

- 高齢者が比較的多い地域
- 居住者がまとまって住む地域
- 実証実験プランのが地域で作成できる。

2. 実証実験の目的

- 地域包括ケア社会のかなめとして地域コミュニティ交通の役割を実証
- 誰でも利用できることを地区に広報する
- 実証事件は無料運行になる。

3. 出席者の意見

- コミュニティカフェ荻野参加することに決定。
- コミカフェの立ち位置を検討する。
- 損益について検討する。
- 活動母体のおぎの生活支援協議会の組織や役割を知りたい。
- 地域の各種団体へのネゴシエーションも検討する。

・経過及び予定

7月20日 おぎの生活支援協議会にて説明（荻野公民館）

7月24日 まつかけ台自治会に説明（まつかけ台自治会館）

8月5日 みはる野定例役員会で説明

8月7日 鳶尾1－5丁目及び24街区自治会会长に説明予定

8月8日 厚木市まちづくり計画部交通政策課と打ち合わせ予定

みはる野役員定例会での説明メモ

日時 2018年8月4日 9時30分から
場所 みはる野自治会館
記 合同会社ロコムテック 代表社員 岩崎正昭
出席 小本会長 山田副会長 松浦副会長 西副会長
浅井顧問 松田総務
合同会社ロコムテック兼副会長 岩崎

会議メモ

地域コミュニティ交通の実証実験プランを包括にて出席者分用意していただき
その資料に基づきプランの内容を説明した。以下はその要旨です。

1. まつかけ台、みはる野、鳶尾地区が実証実験のモデル地区に選定された理由

- 高齢者が比較的多い地域
- 居住者がまとまって住む地域
- 実証実験プランのが地域で作成できる。

2. 実証実験の目的

- 地域包括ケア社会のかなめとして地域コミュニティ交通の役割を実証
- 誰でも利用できることを地区に広報する
- 実証事件は無料運行になる。

3. 出席者の意見

- 特に意見はなかった。

まつかけ台地域包括ケア会議 平成30年度での説明メモ

日時 2018年7月24日 19時から20時
場所 まつかけ台自治会館
記 合同会社ロコムテック 代表社員 岩崎正昭
出席 牛村自治会長、遠藤民生委員、古道民生委員
包括 畑さん、鈴木さん、篠原さん
合同会社ロコムテック 岩崎

会議メモ

地域コミュニティ交通の実証実験プランを包括にて出席者分用意していただき
その資料に基づきプランの内容を説明した。以下はその要旨です。

1. まつかけ台、みはる野、鳶尾地区が実証実験のモデル地区に選定された理由
 - 高齢者が比較的多い地域
 - 居住者がまとまって住む地域
 - 実証実験プランのが地域で作成できる。

2. 実証実験の目的

- 地域包括ケア社会のかなめとして地域コミュニティ交通の役割を実証
- 誰でも利用できることを地区に広報する
- 実証事件は無料運行になる。

3. 出席者の意見

- 運行路線についてはまずこの案で実施する。
- 体験していただいたうえで意見を反映するのが良いのでは。
(8月は夏祭りの準備で時間がないのでワークショップは開けない)
- 車両、時刻表、時期等具体的決まればチラシ等は自治会で配布して周知する。
- アンケートは地域包括ケア社会のアンケートもあるので、調査時期及び内容も検討する。
- 導入初期はグループを組んで利用を進めるのもよい。
- 導入時期が計画通りにならない可能性もあるのでは。
- 導入には賛成である。

おぎの生活支援協議会 平成30年度臨時会議での説明メモ

日時 2018年7月20日 13時から15時
場所 萩野公民館集会室A
記 合同会社ロコムテック 代表社員 岩崎正昭
出席 別紙おぎの生活支援協議会議事録を参照ください

会議メモ

1. まつかけ台、みはる野、鳶尾地区が実証実験のモデル地区に選定された理由

- 高齢者が比較的多い地域
- 居住者がまとまって住む地域
- 実証実験プランのが地域で作成できる。

2. 実証実験の目的

- 地域包括ケア社会のかなめとして地域コミュニティ交通の役割を実証
- 誰でも利用できることを地区に広報する
- モデルの仕組みとして厚木市他地区にも横展開する。

3. 鳶尾地区のルート案について

- 合同会社ロコムテックでたたき台を作成
- たたき台を横岩自治連会長と検討して7月末まで最終化する。

4. まつかけ台ルート案について

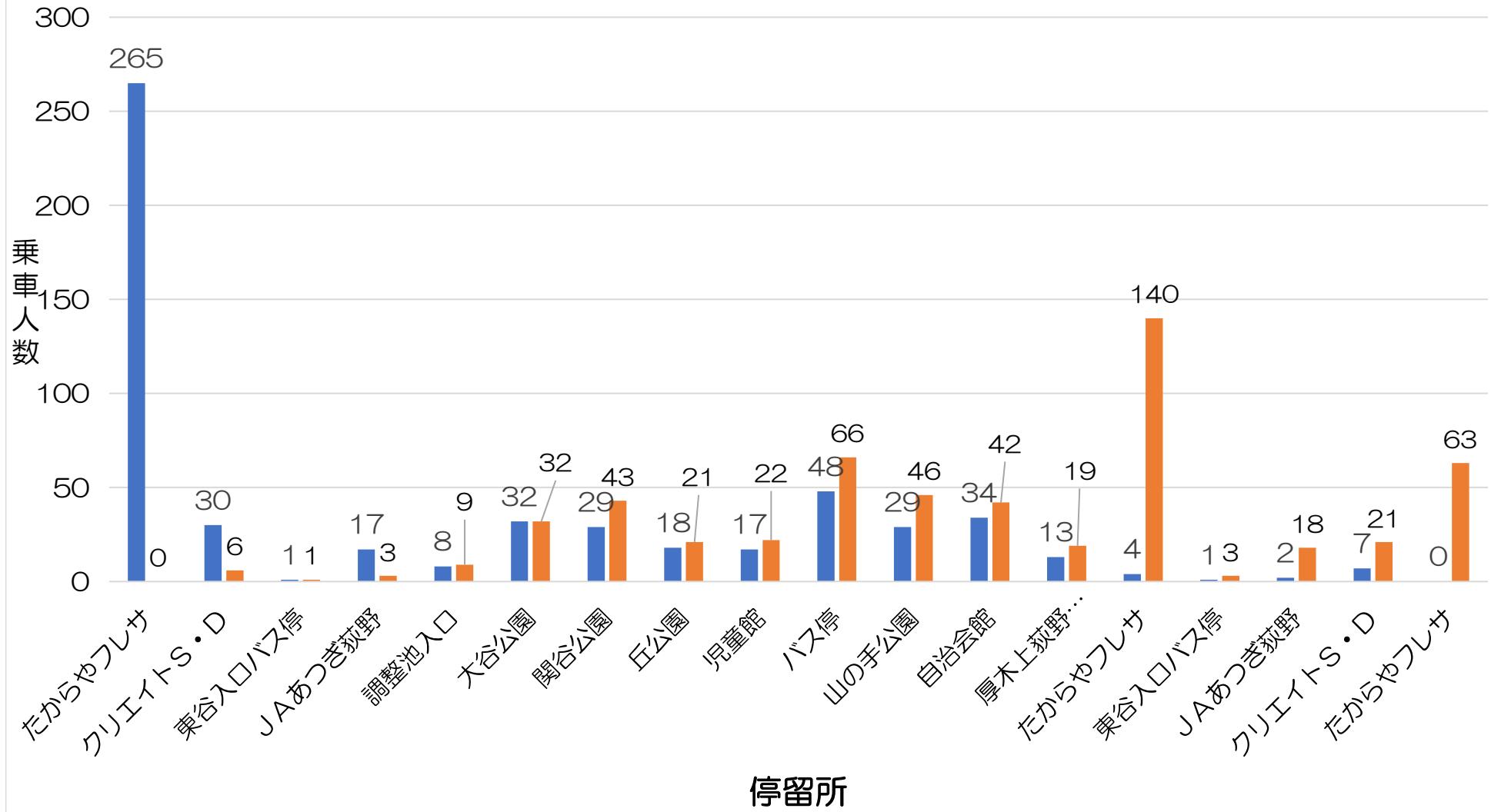
- 地域包括支援センター会議にて説明（7月24日19時から）

5. その他

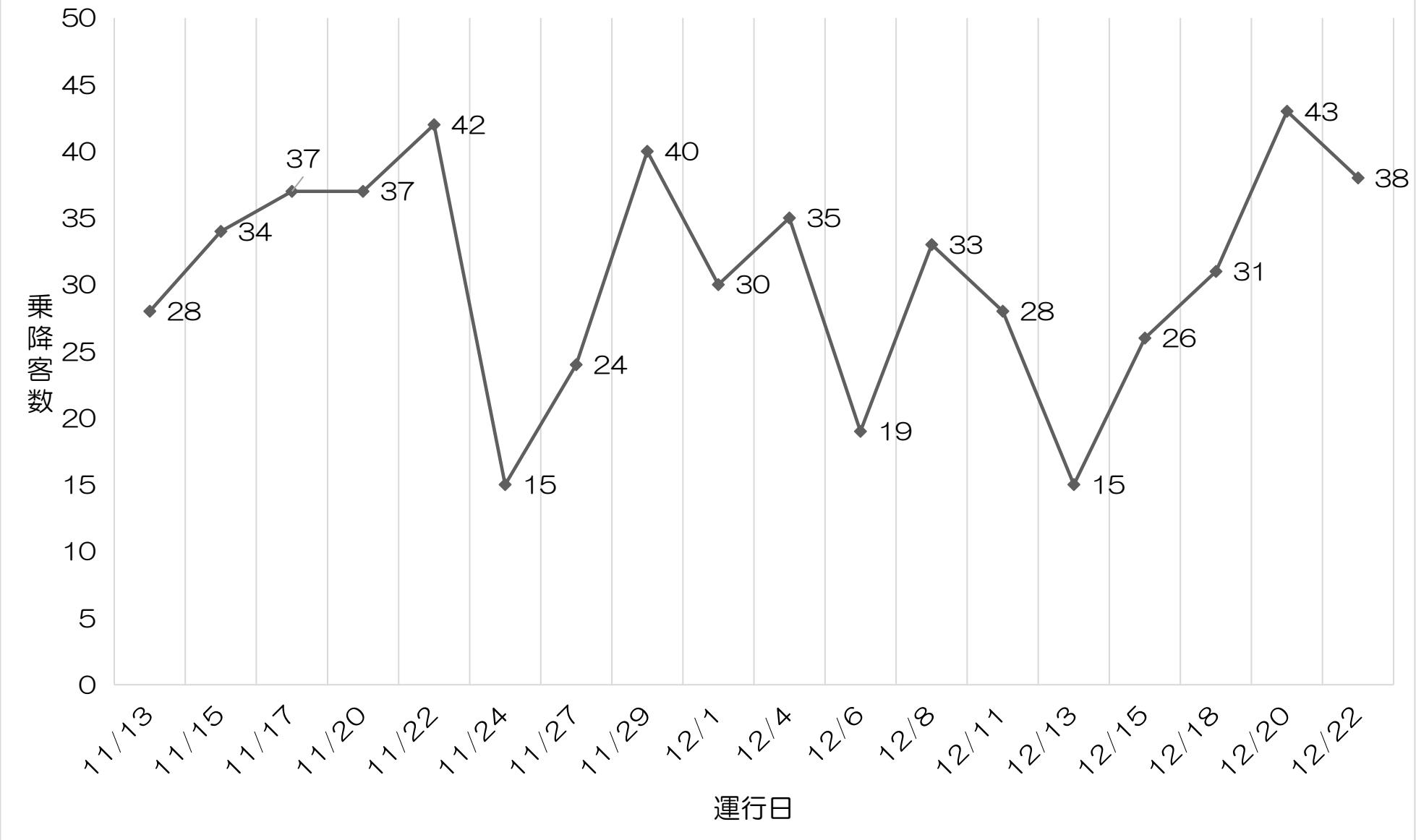
- 受益者負担の原則を適用考慮
- 地域包括ケア社会の基本機能はだれでも無料は良いことか
- アンケートはルート案や時刻表等具体的なことを明記したほうが良い

まつかげ台・みはる野地区停留所別乗降傾向

■乗車 ■降車



まつかけ台・みはる野地区日別乗降者数傾向



まつかげ台・みはる野地区、停留所別乗降者合計人数

2018年実証実験

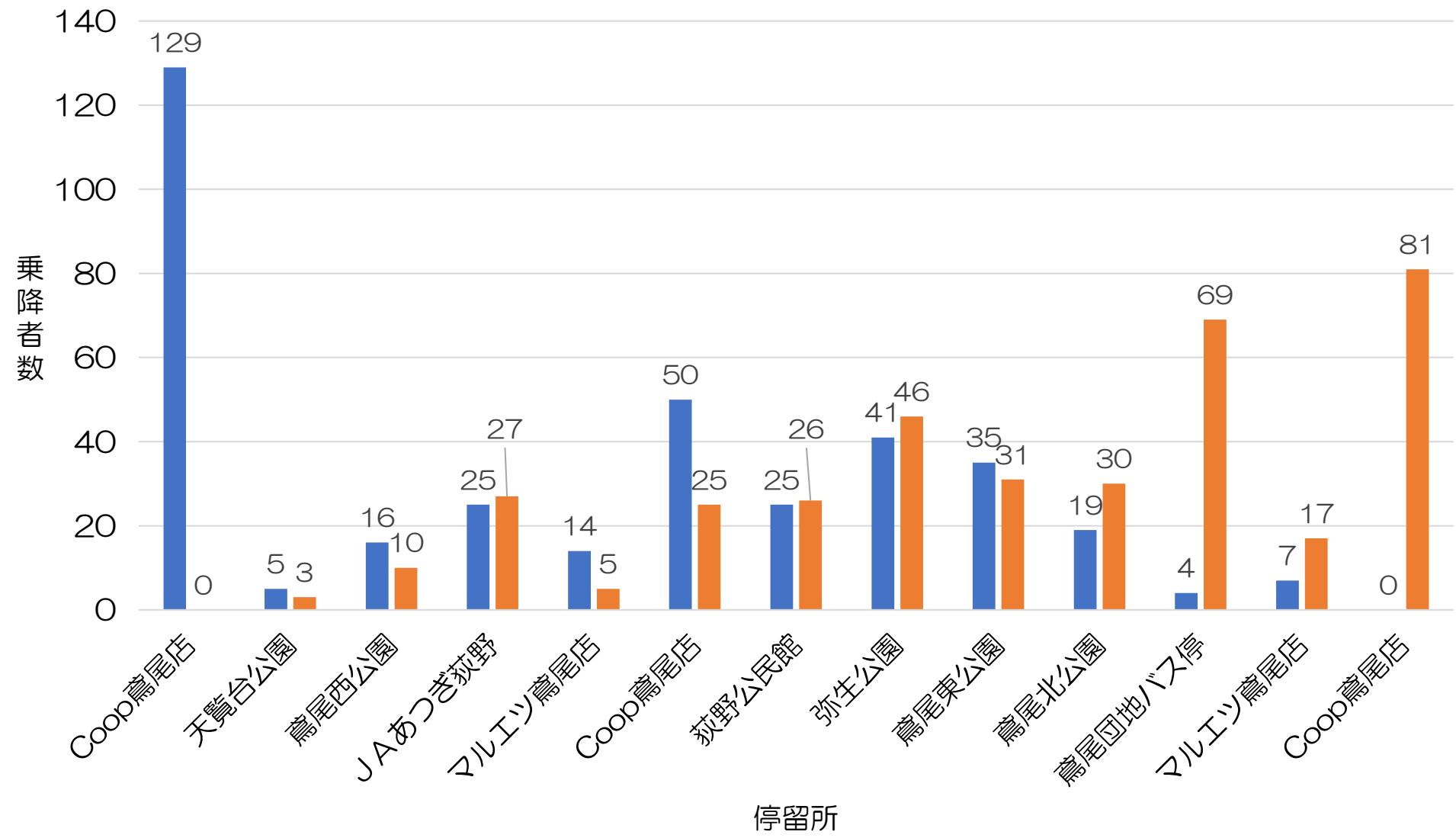
走行距離数

958 km

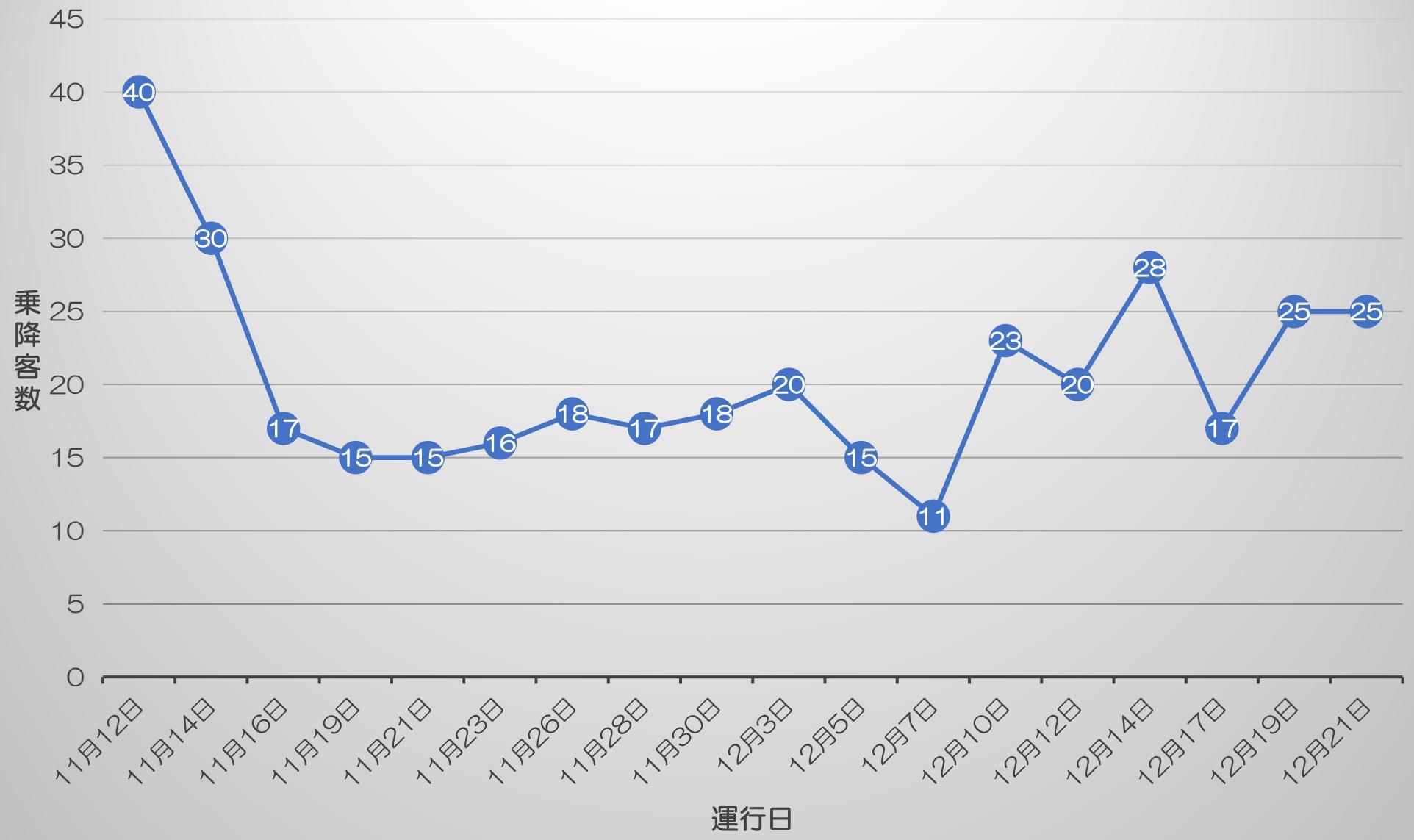
停 留 所 名			1	2	3	4	5	6	7	適用	
		発車時刻	9:00	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00	16:00		
1	たからやフレサ	乗車	4	49	85	32	52	29	14	265	
		降車									
2	クリエイトS・D	乗車	0	3	20	0	4	3	0	30	
		降車	0	6	0	0	0	0	0	6	
3	東谷入口バス停	乗車	0	0	0	1	0	0	0	1	
		降車	0	0	0	0	1	0	0	1	
4	JAあつぎ荻野	乗車	0	4	1	5	2	5	0	17	
		降車	0	0	0	0	0	1	2	3	
5	調整池入口	乗車	0	0	1	0	2	0	5	8	
		降車	0	0	3	0	4	2	0	9	
6	大谷公園	乗車	6	6	0	8	2	1	9	32	
		降車	0	2	7	3	14	4	2	32	
7	関谷公園	乗車	8	10	0	4	4	2	1	29	
		降車	0	10	17	2	9	3	2	43	
8	まつかげ台 丘公園	乗車	8	5	3	0	2	0	0	18	
		降車	0	6	7	3	0	5	0	21	
9	まつかげ台児童館	乗車	3	8	0	4	2	0	0	17	
		降車	0	9	9	3	1	0	0	22	
10	まつかげ台 バス停	乗車	28	5	1	4	6	4	0	48	
		降車	0	15	37	0	7	5	2	66	
11	まつかげ台 山の手公園	乗車	6	6	6	3	8	0	0	29	
		降車	3	5	11	11	8	7	1	46	
12	まつかげ台 自治会館	乗車	7	9	6	8	2	1	1	34	
		降車	0	4	14	9	7	6	2	42	
13	厚木上荻野 郵便局	乗車	0	4	4	3	1	1	0	13	
		降車	7	4	1	2	2	2	1	19	
1	たからやフレサ	乗車	2	1	0	0	0	0	1	4	
		降車	45	30	12	19	16	5	13	140	
3	東谷入口バス停	乗車	0	1	0	0	0	0	0	1	
		降車	3	0	0	0	0	0	0	3	
4	JAあつぎ荻野	乗車	0	2	0	0	0	0	0	2	
		降車	3	1	2	5	6	1	0	18	
2	クリエイトS・D	乗車	0	5	0	0	1	0	1	7	
		降車	0	4	5	6	4	1	1	21	
1	たからやフレサ	乗車									
		降車	11	22	2	9	9	4	6	63	
乗降者数合計		乗車	72	118	127	72	88	46	32		
		降車	72	118	127	72	88	46	32		
利用者数合計						555					

鳴尾地区停留所別乗車傾向

■乗車 ■降車



鳶尾地区日別乗降客数傾向



鳶尾地区、停留所別乗降者合計人数

2018年実証実験

走行距離数 840 Km

840 Km

厚木市地域コミュニティ交通実証実験

2018年12月16日

日付	曜日	コース	運転士	助手	備考
11月12日	月	鳶尾	松本 安司	岩崎 正昭	
13日	火	まつかげ台	松本 安司	岩崎 正昭	
14日	水	鳶尾	松本 安司	白土 浩司	
15日	木	まつかげ台	松本 安司	三橋 明美	
16日	金	鳶尾	松本 安司	岩崎 正昭	11/9高橋さんと交代
17日	土	まつかげ台	飯田 裕美	平井 滋子	
18日	日				
19日	月	鳶尾	飯田 裕美	川原 真人	
20日	火	まつかげ台	松本 安司	土谷 知男	
21日	水	鳶尾	松本 安司	奥山 四郎	11/10中山さんと交代
22日	木	まつかげ台	松本 安司	近藤 述之	
23日	金	鳶尾	松本 安司	山崎 貞	11/23飯野さんと交代
24日	土	まつかげ台	飯田 裕美	三橋 明美	
25日	日				
26日	月	鳶尾	松本 安司	坪根 望	
27日	火	まつかげ台	松本 安司	土谷 知男	11/25中山さんと交代
28日	水	鳶尾	松本 安司	岩崎 正昭	11/8白土さんと交代
29日	木	まつかげ台	松本 安司	近藤 述之	
30日	金	鳶尾	松本 安司	飯野 邦子	11/12山崎さんと交代
12月1日	土	まつかげ台	松本 安司	坪根 望	
2日	日				
3日	月	鳶尾	松本 安司	奥山 四郎	
4日	火	まつかげ台	松本 安司	平井 滋子	
5日	水	鳶尾	松本 安司	白土 浩司	
6日	木	まつかげ台	松本 安司	飯野 邦子	
7日	金	鳶尾	松本 安司	岩崎 正昭	11/12高橋さんと交代
8日	土	まつかげ台	飯田 裕美	美馬 教美	11/8三橋さんと交代
9日	日				
10日	月	鳶尾	松本 安司	山崎 貞	
11日	火	まつかげ台	松本 安司	飯野 邦子	
12日	水	鳶尾	松本 安司	川原 真人	
13日	木	まつかげ台	松本 安司	近藤 述之	
14日	金	鳶尾	松本 安司	美馬 教美	
15日	土	まつかげ台	飯田 裕美	遠藤 勇夫	
16日	日				
17日	月	鳶尾	松本 安司	岩崎 正昭	12/6奥山さんと交代
18日	火	まつかげ台	松本 安司	岩崎 正昭	12/1山崎さんと交代
19日	水	鳶尾	松本 安司	白土 浩司	
20日	木	まつかげ台	松本 安司	遠藤 勇夫	
21日	金	鳶尾	松本 安司	土谷 知男	
22日	土	まつかげ台	飯田 裕美	三橋 明美(1 2 3便) 土谷 知男(4 5 6 7便)	12/16日岩崎さんと交代

地域コミュニティ交通に関するアンケート集計結果報告

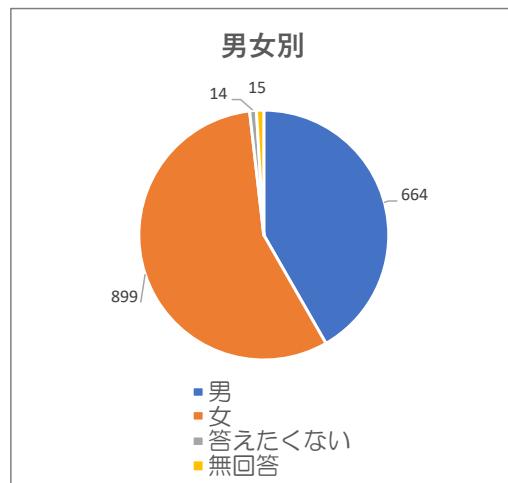
回答は、御家族の中で昼間の時間帯（午前9時頃から午後5時頃まで）に外出する機会がある方にお願いします。

以下の問い合わせについて、該当する□にレ点を付けてください。また、() 内には直接記入してください。

問1 あなたの性別は。

男 女 答えたくない

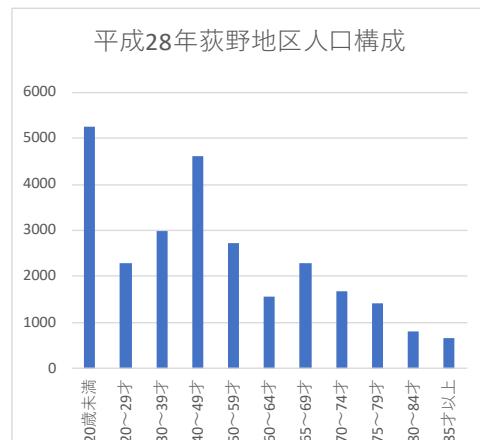
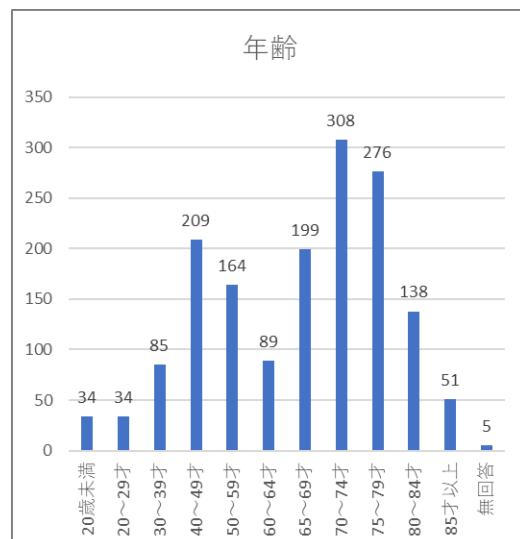
男女別	
男	664
女	899
答えたくない	14
無回答	15
計	1592



問2 年齢はいくつですか。

20歳未満 20~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳
60~64歳 65~69歳 70~74歳 75~79歳 80~84歳
85歳以上

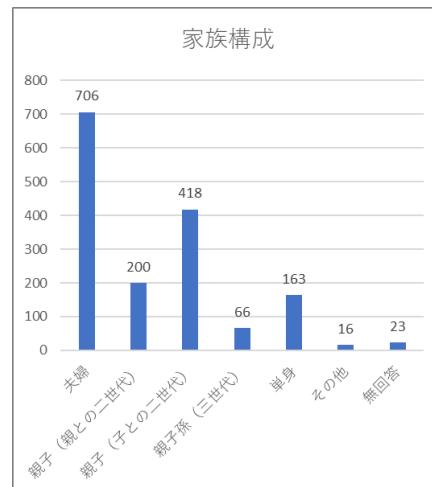
年齢	人数
20歳未満	34
20~29才	34
30~39才	85
40~49才	209
50~59才	164
60~64才	89
65~69才	199
70~74才	308
75~79才	276
80~84才	138
85才以上	51
無回答	5
計	1592



問3 家族構成はどれに該当しますか。

- 夫婦 親子（親との二世代） 親子（子との二世代） 親子孫（三世代）
単身 その他（ ）

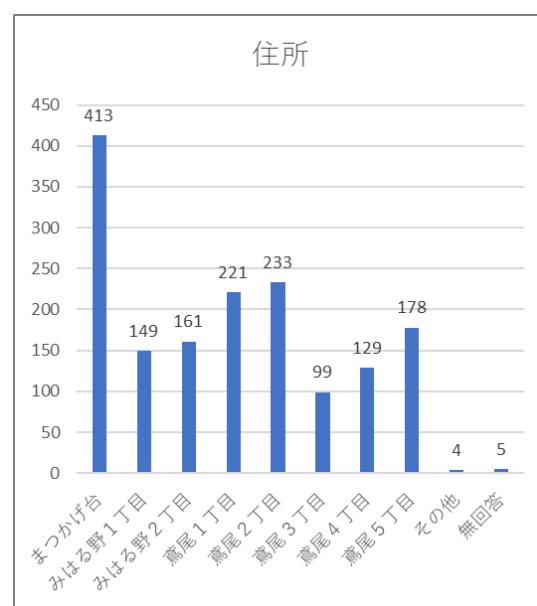
家族構成	人数
夫婦	706
親子（親との二世代）	200
親子（子との二世代）	418
親子孫（三世代）	66
単身	163
その他	16
無回答	23
計	1592



問4 どの地区にお住まいですか。

- まつかげ台 みはる野1丁目 みはる野2丁目
鳶尾1丁目 鳶尾2丁目 鳶尾3丁目 鳶尾4丁目 鳶尾5丁目
その他（ ）

住所	人数
まつかげ台	413
みはる野1丁目	149
みはる野2丁目	161
鳶尾1丁目	221
鳶尾2丁目	233
鳶尾3丁目	99
鳶尾4丁目	129
鳶尾5丁目	178
その他	4
無回答	5
計	1592

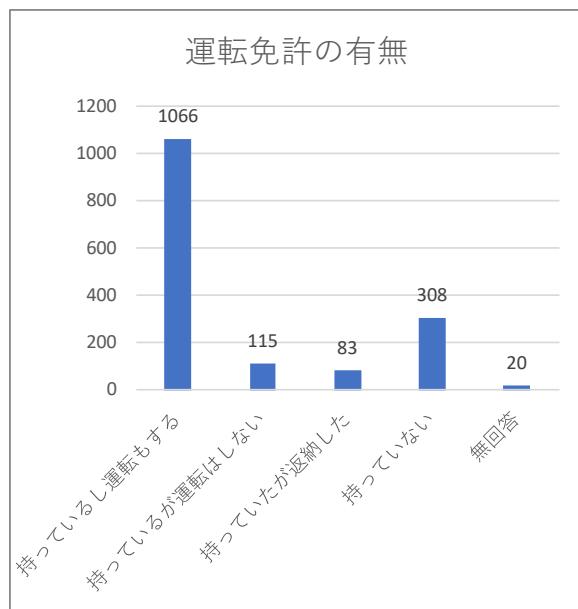


問5 自動車運転免許はお持ちですか。

持っているし運転もする 持っているが運転はしない 持っていたが返納した 持っていない

□

運転免許の有無	人数
持っているし運転もする	1066
持っているが運転はしない	115
持っていたが返納した	83
持っていない	308
無回答	20
計	1592

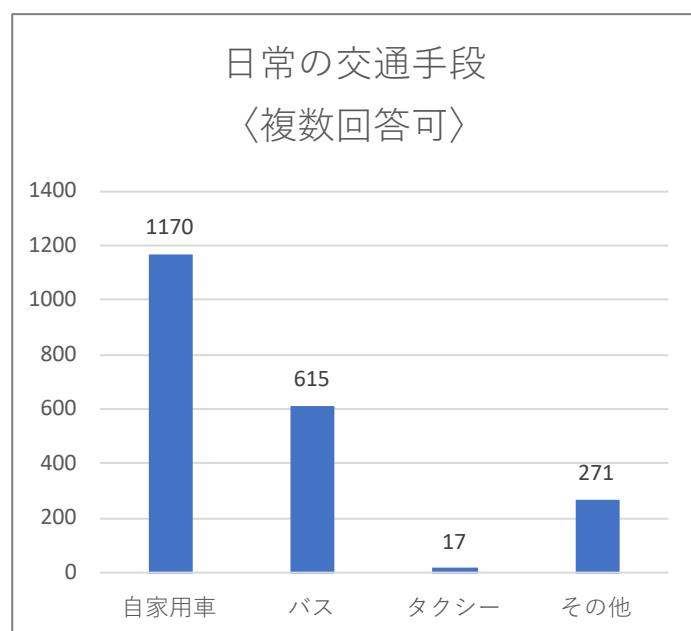
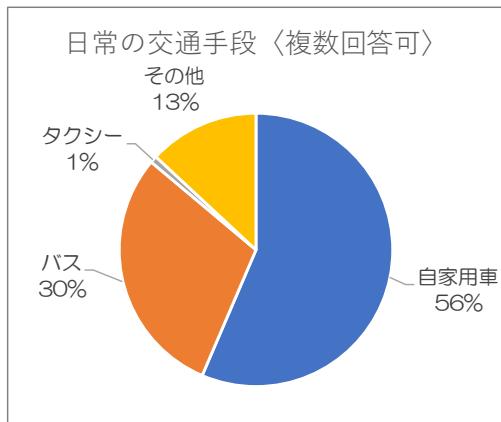


問6 日ごろ利用する主な交通手段と、その頻度、目的をお答えください（複数回答可）。

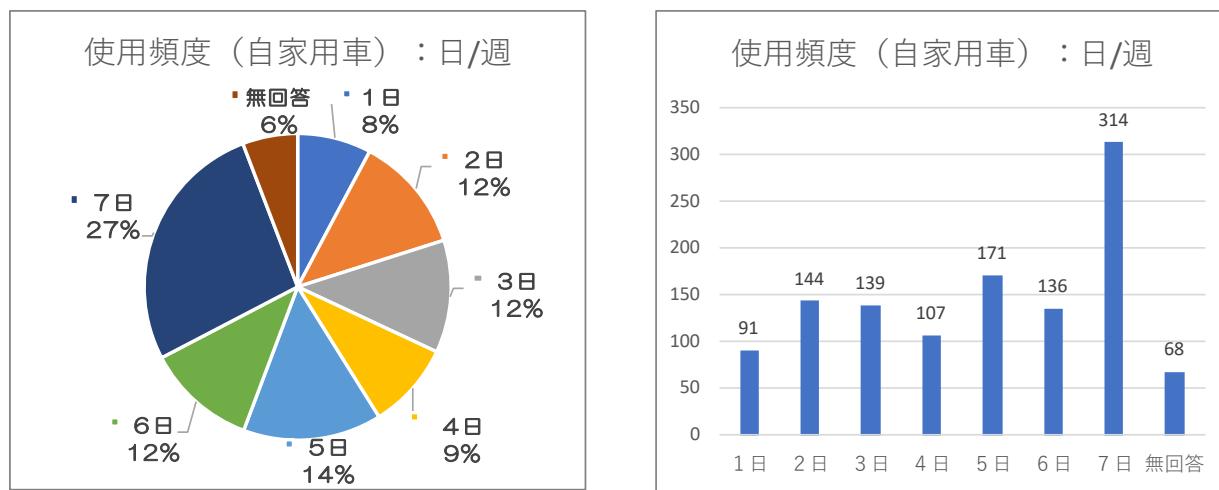
- 自家用車 週に(　　日)(通勤・通学 買物・通院 その他所用(趣味、娯楽等))
バス 週に(　　日)(通勤・通学 買物・通院 その他所用(趣味、娯楽等))
タクシー 週に(　　日)(通勤・通学 買物・通院 その他所用(趣味、娯楽等))
その他 週に(　　日)(通勤・通学 買物・通院 その他所用(趣味、娯楽等))
(バイク、自転車、徒歩など)

主な手段

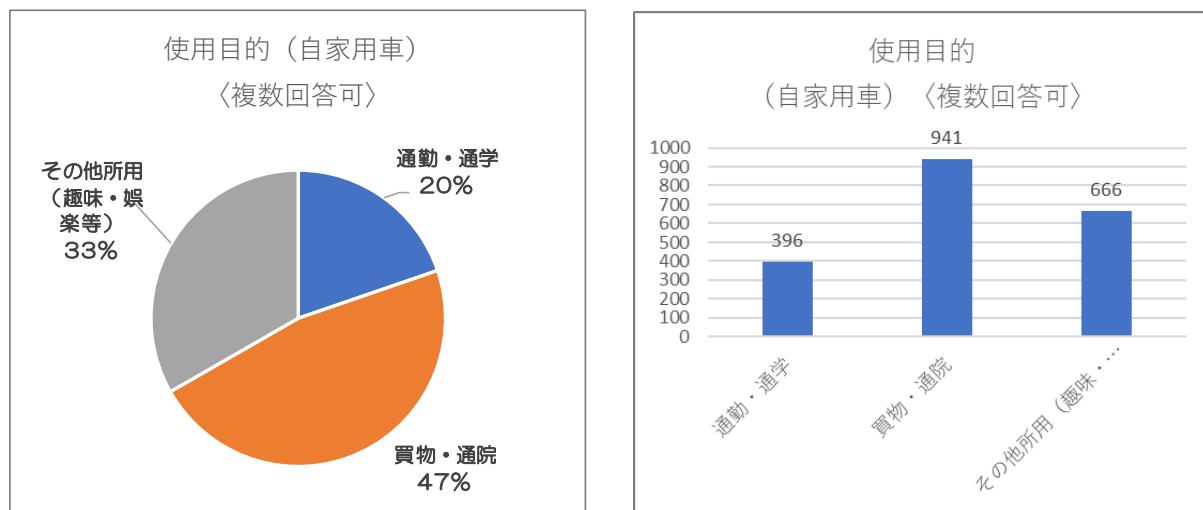
日常の交通手段 (複数回答可)	人数
自家用車	1170
バス	615
タクシー	17
その他	271
計	2073



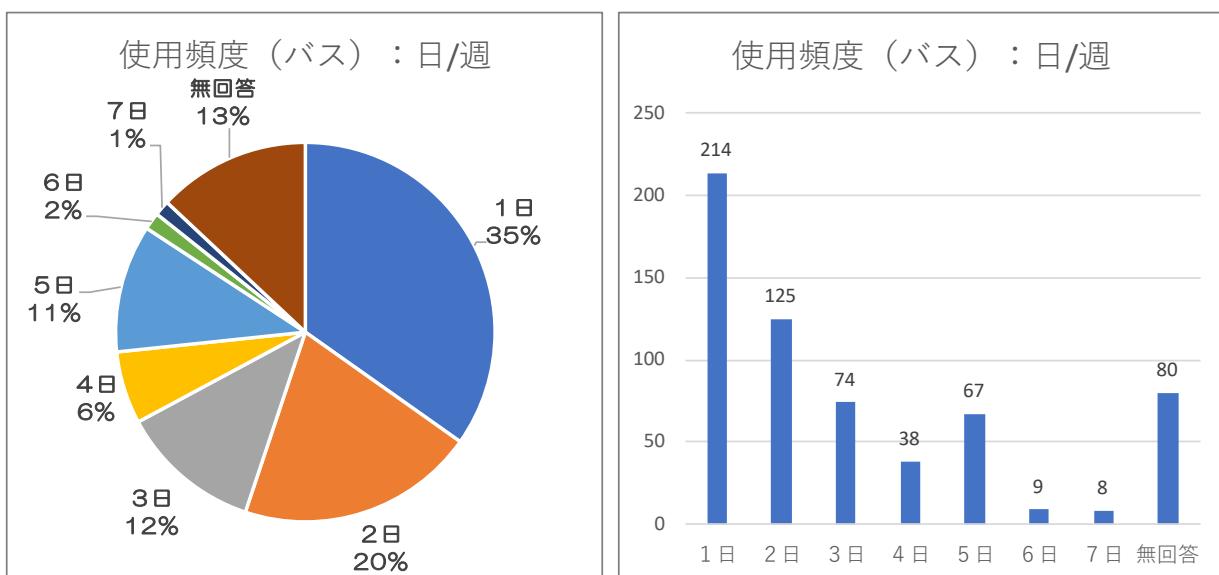
自家用車の使用頻度



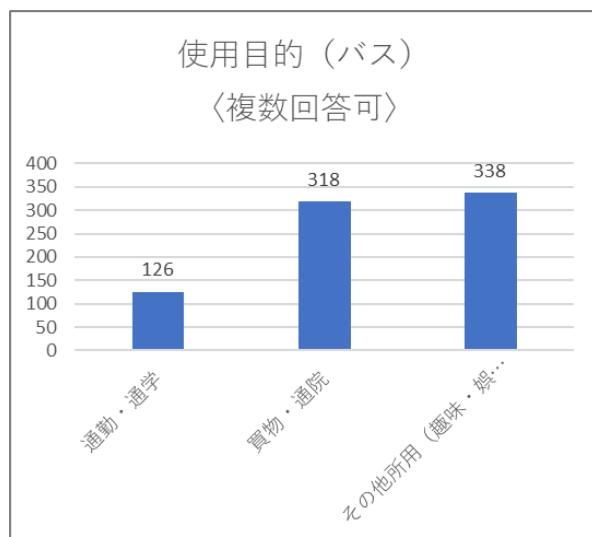
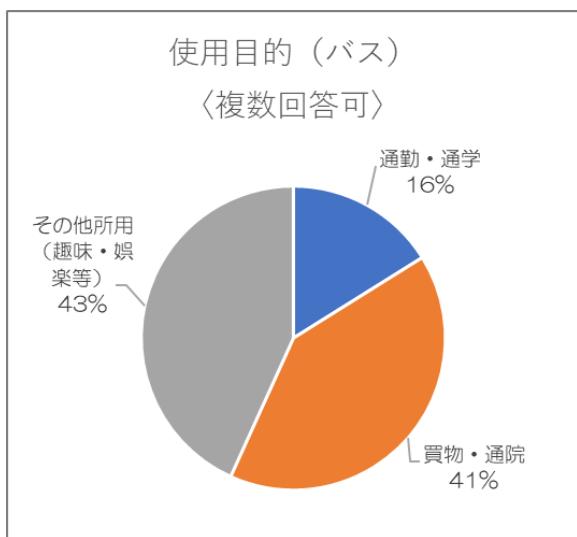
自家用車の目的



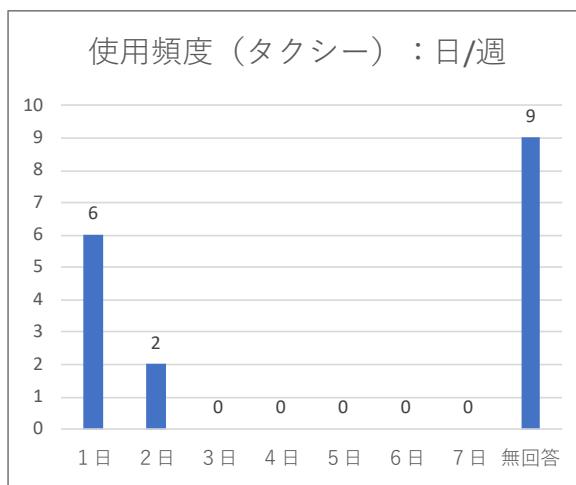
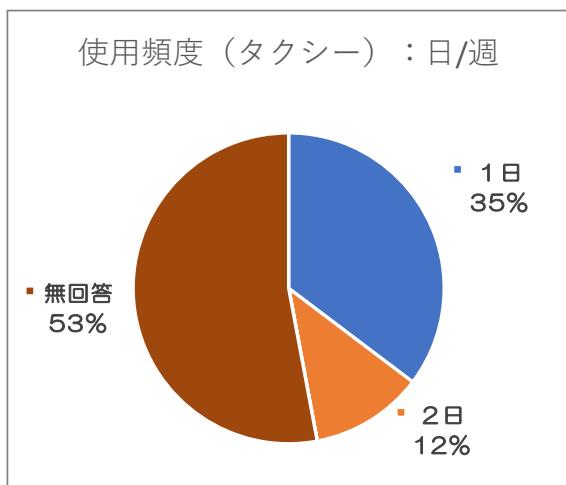
バスの使用頻度



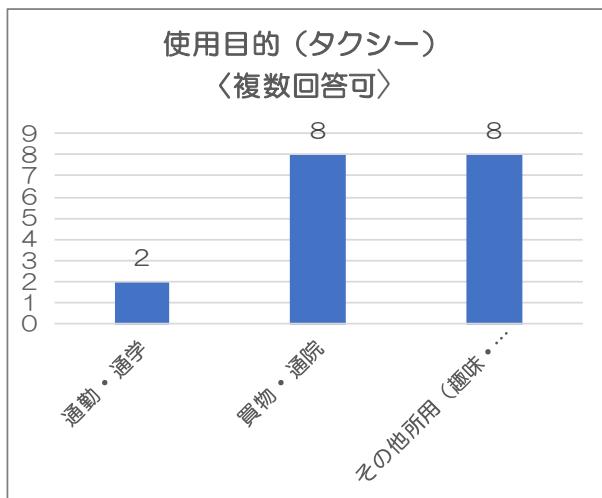
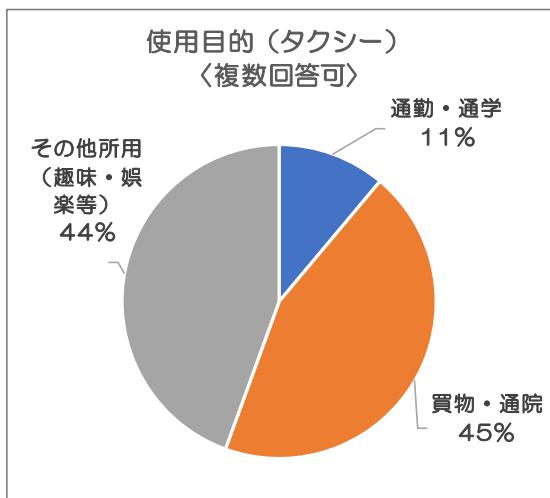
バスの目的



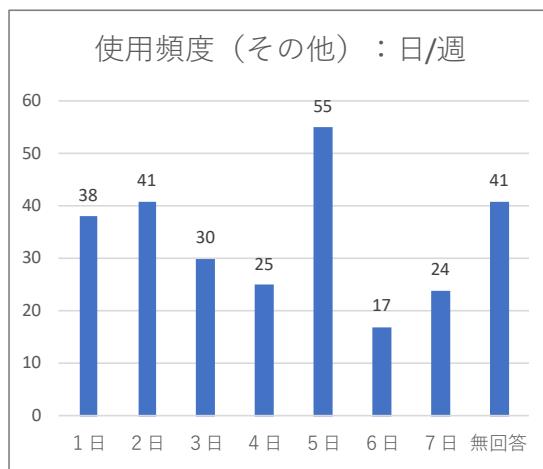
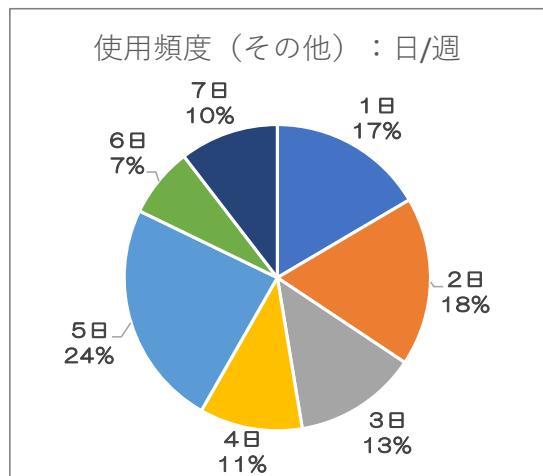
タクシー使用頻度



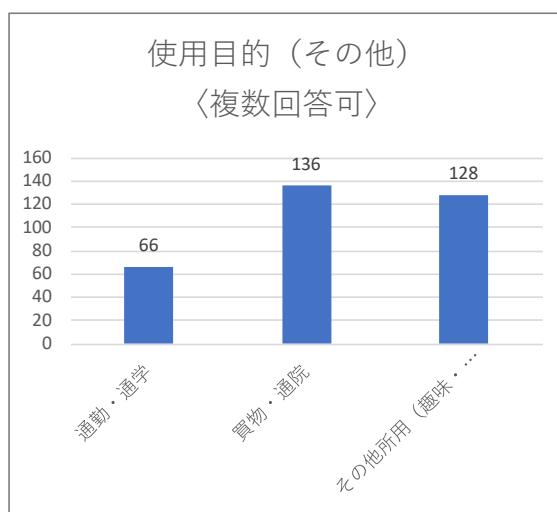
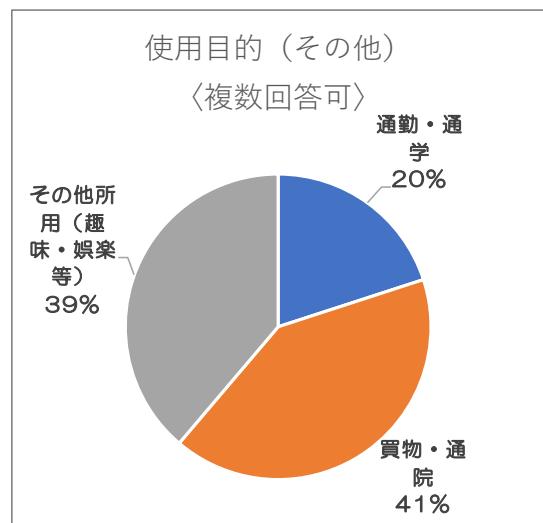
タクシーの目的



その他の使用頻度（自転車・徒歩）

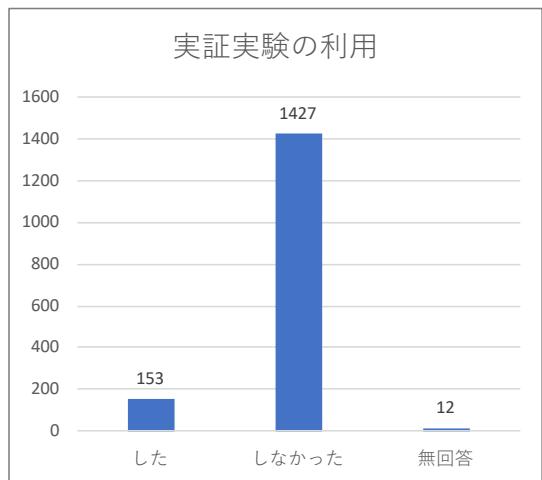
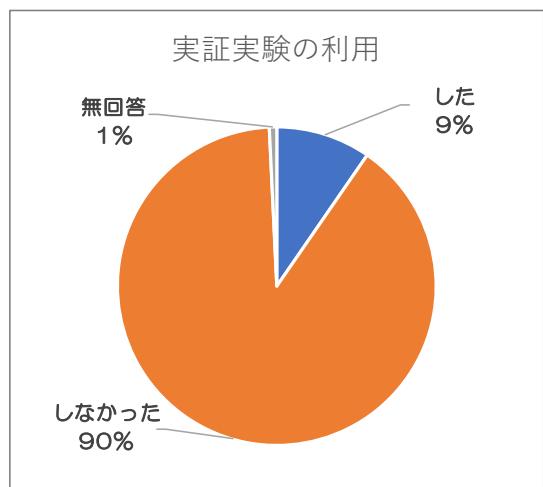


その他の目的（自転車・徒歩）



問7 今回の地域コミュニティ交通実証実験を利用しましたか。

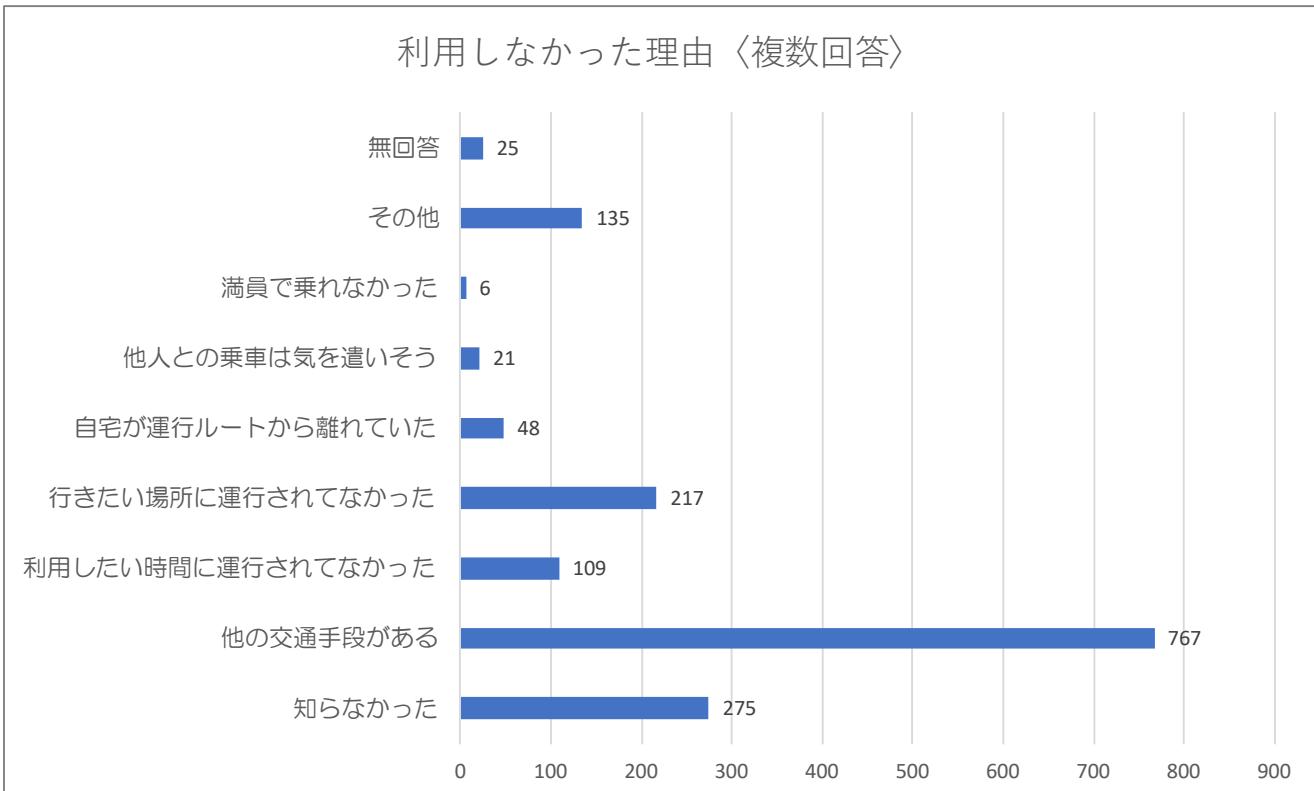
利用した（問9へ進んでください） 利用しなかった（問8へ進んでください）



問8 今回の実証実験を利用しなかった理由をお答えください（一つ回答）。

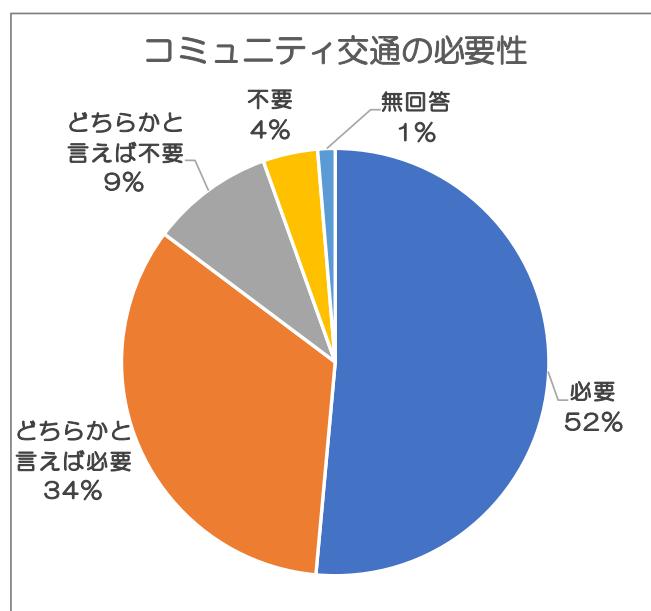
- 実証実験が行われていることを知らなかったから
- 他の交通手段があるから
- 利用したい時間に運行されていなかったから
- 行きたい場所に運行されていなかったから
- 自宅が運行ルートから離れていたから
- 他人と乗車するのに気を遣いそうだから
- 満員で乗れなかったから
- その他（ ）

利用しなかった理由〈複数回答〉



問9 今後、このような地域コミュニティ交通（※1）は、必要だと思いますか（一つ回答）。

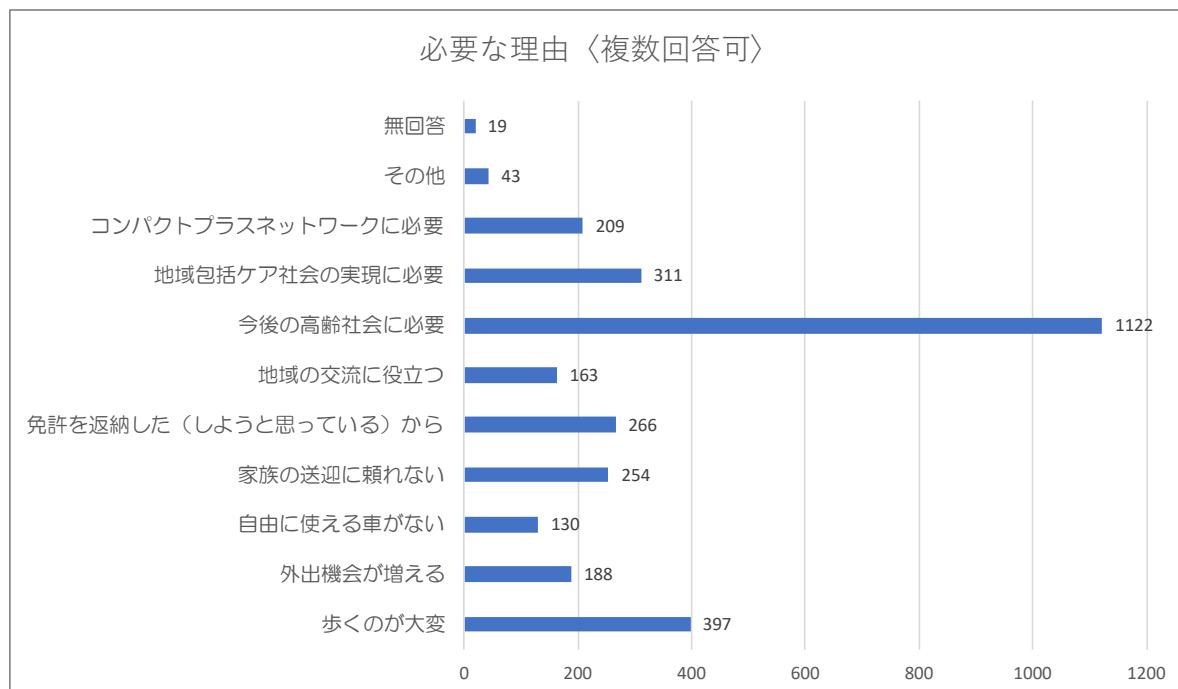
- 必要（問10へ進んでください）
- どちらかと言えば必要（問10へ進んでください）
- どちらかと言えば不要（問15へ進んでください）
- 不要（問15へ進んでください）



問10 地域コミュニティ交通が必要だと思う理由は何ですか（複数回答可）。

- 歩くのが大変だから
- 外出機会が増えるから
- 自由に使える車がないから
- 家族の送迎に頼れないから
- 運転免許を返納したから（しようと思っているから）
- 地域の交流に役立つから
- 今後の高齢社会に必要だから
- 地域包括ケア社会（※2）の実現に必要だから
- コンパクト・プラス・ネットワーク（※3）の構築のために必要だから
- その他（ ）

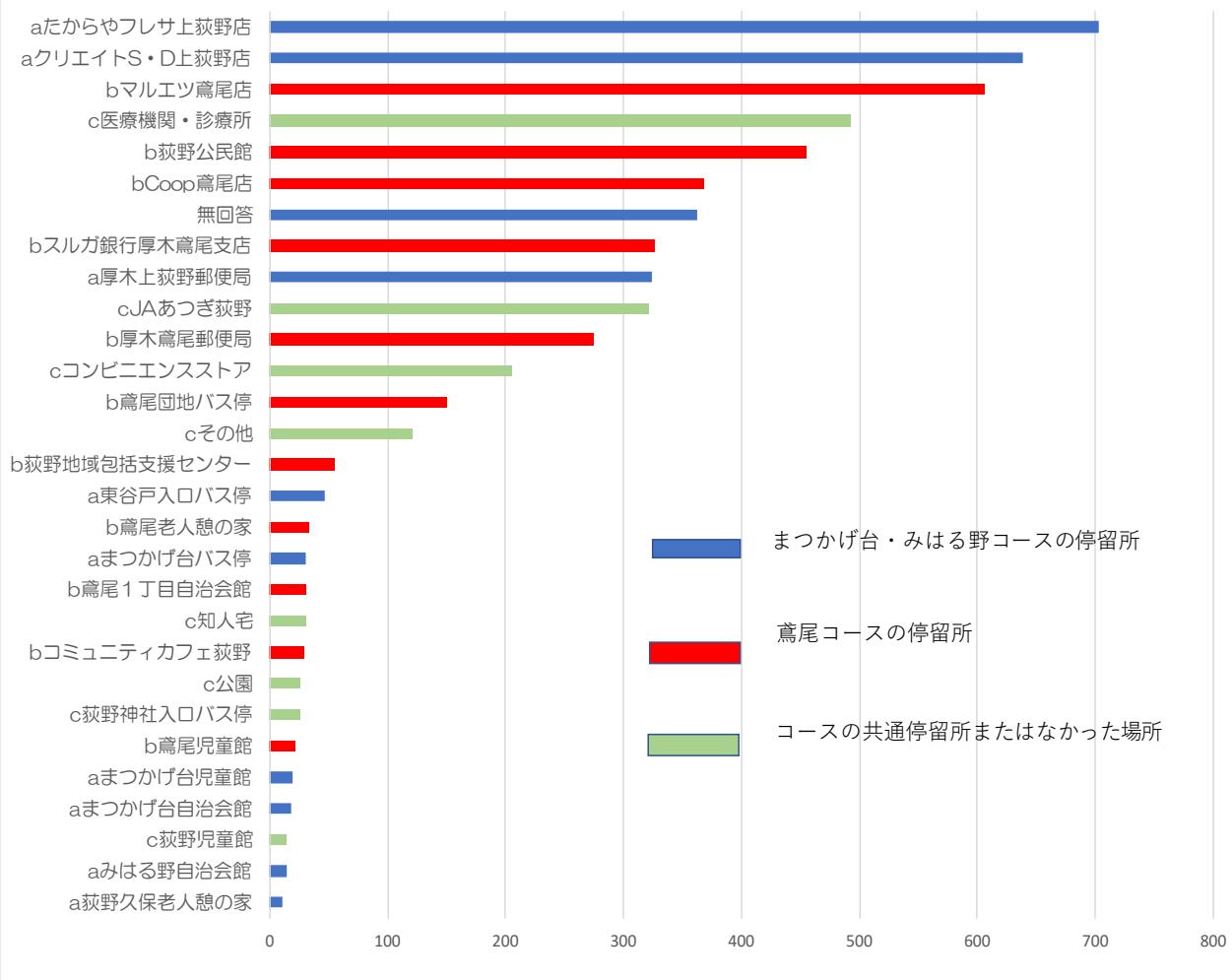
必要な理由〈複数回答可〉



問11 地域コミュニティ交通とは、日常生活に必要な短距離の移動のための「チョイ乗り」のイメージです。この交通を利用して行きたいところはどこですか（複数回答可）。

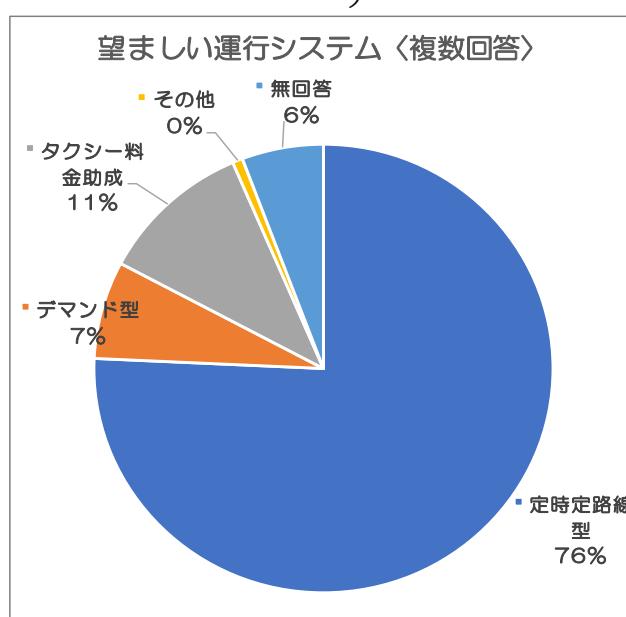
- たからやフレサ上荻野店
- マルエツ鳴尾店
- Coop 鳴尾店
- クリエイト S・D 上荻野店
- コンビニエンスストア（具体的に ）
- スルガ銀行厚木鳴尾支店
- JA あつぎ荻野
- 厚木上荻野郵便局
- 厚木鳴尾郵便局
- 医療機関・診療所（具体的に ）
- 荻野公民館
- 荻野地域包括支援センター
- コミュニティカフェ荻野
- 鳴尾1丁目自治会館
- みはる野自治会館
- まつかげ台自治会館
- 鳴尾老人憩の家
- 荻野久保老人憩の家
- 鳴尾児童館
- まつかげ台児童館
- 荻野児童館
- 鳴尾団地バス停
- まつかげ台バス停
- 東谷戸入口バス停
- 荻野神社入口バス停
- 公園（具体的に ）
- 知人宅
- その他（具体的に ）

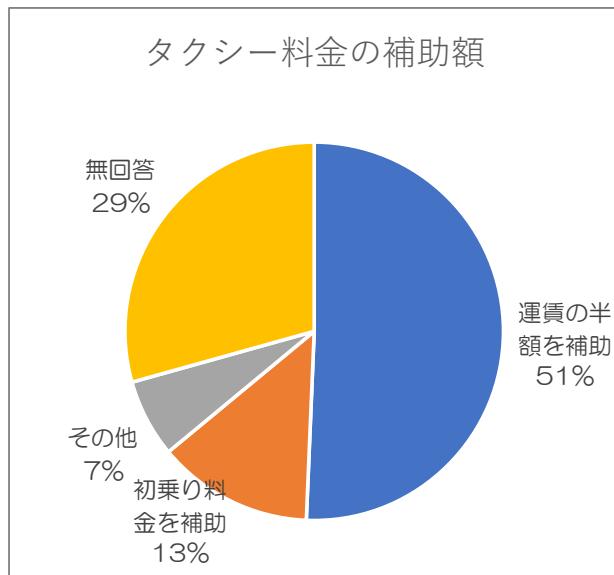
行きたいところ 〈複数回答可〉



問12 運行システム（有料）は、どのような方法が良いと思いますか（一つ回答）。

- 定時定路線型（路線バスのように決まった時間とルートを運行する方式です。）
- デマンド型（電話等で事前に予約し、出発地から目的地までの間で、複数人数で乗合により運行する方式です。）
- タクシー料金の助成（通常のタクシー利用で運賃の一部を補助する方式です。）
(運賃の半額を補助 初乗り料金を補助 その他（ 円))
- その他（ ）





問 13 1乗車当たりの運賃は、いくらが適当だと思いますか（それぞれ一つ回答）。

○定時定路線型の場合なら

100円 150円 200円 250円 300円 その他（ 円）

○デマンド型の場合なら

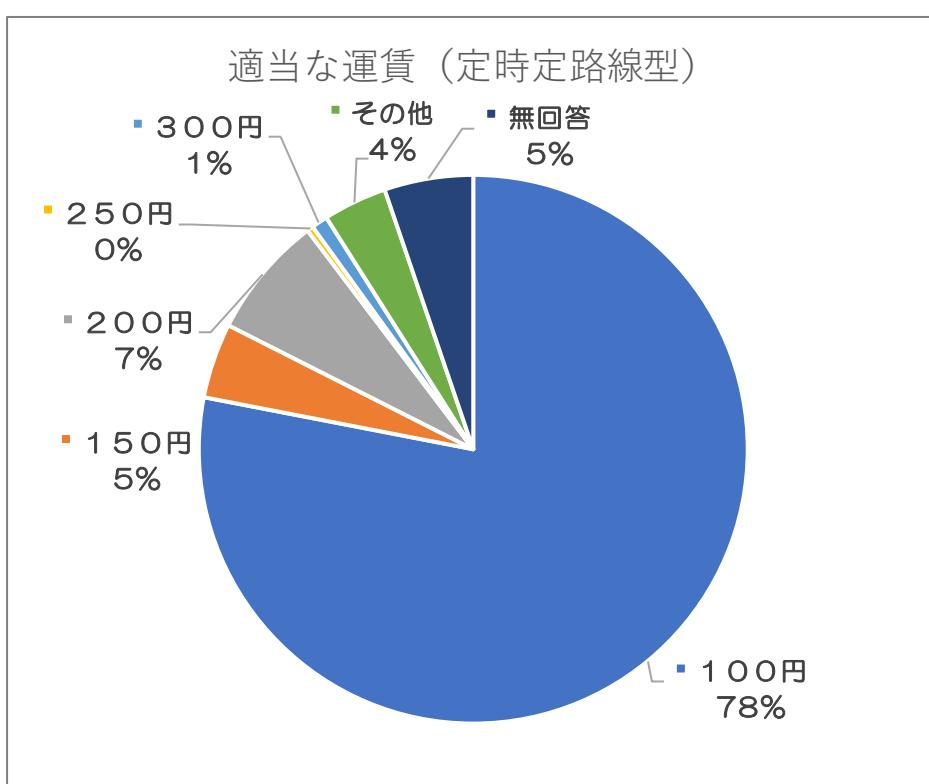
300円 400円 500円 600円 その他（ 円）

○1か月あたりの定期券を購入するなら

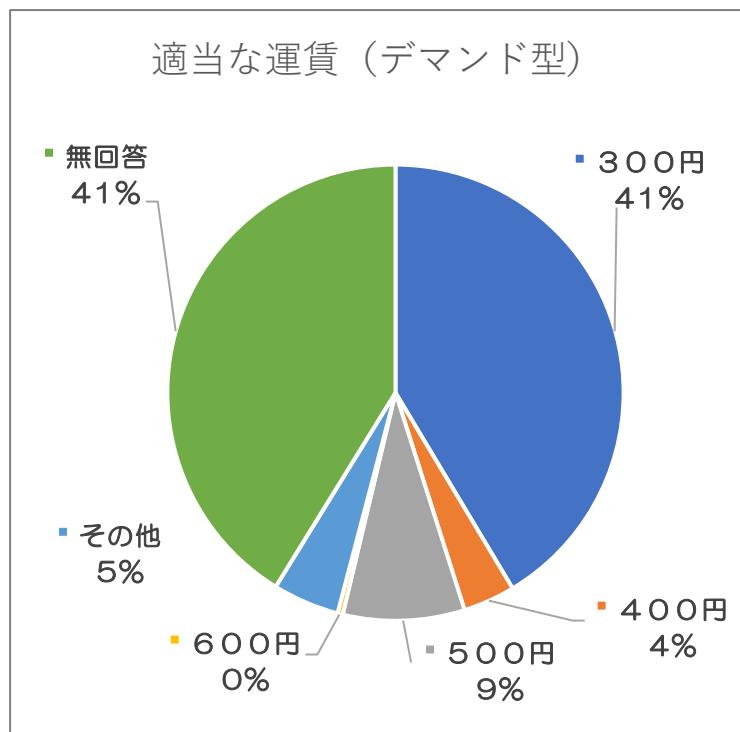
1,000円 1,500円 2,000円 2,500円 3,000円

その他（ 円）

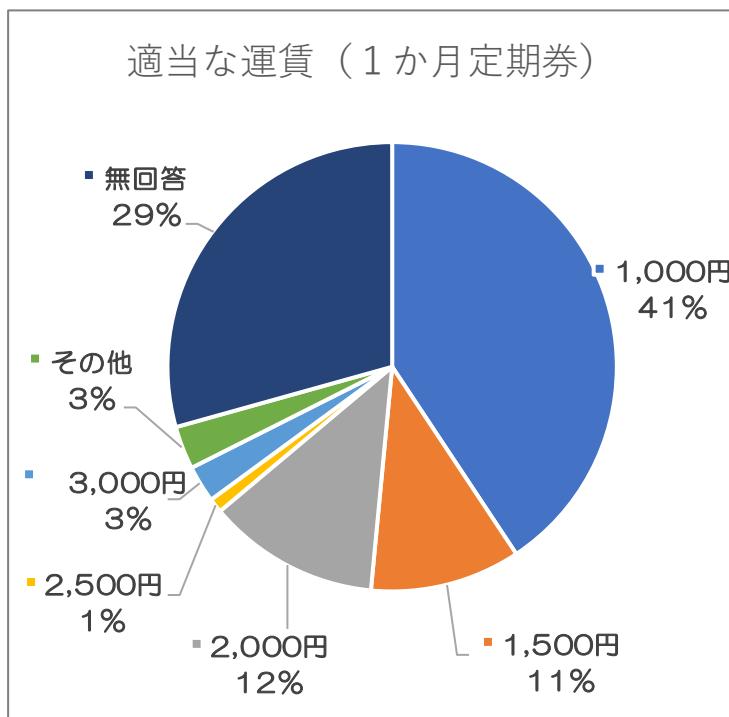
定時定路線型の運賃



デマンド型の運賃

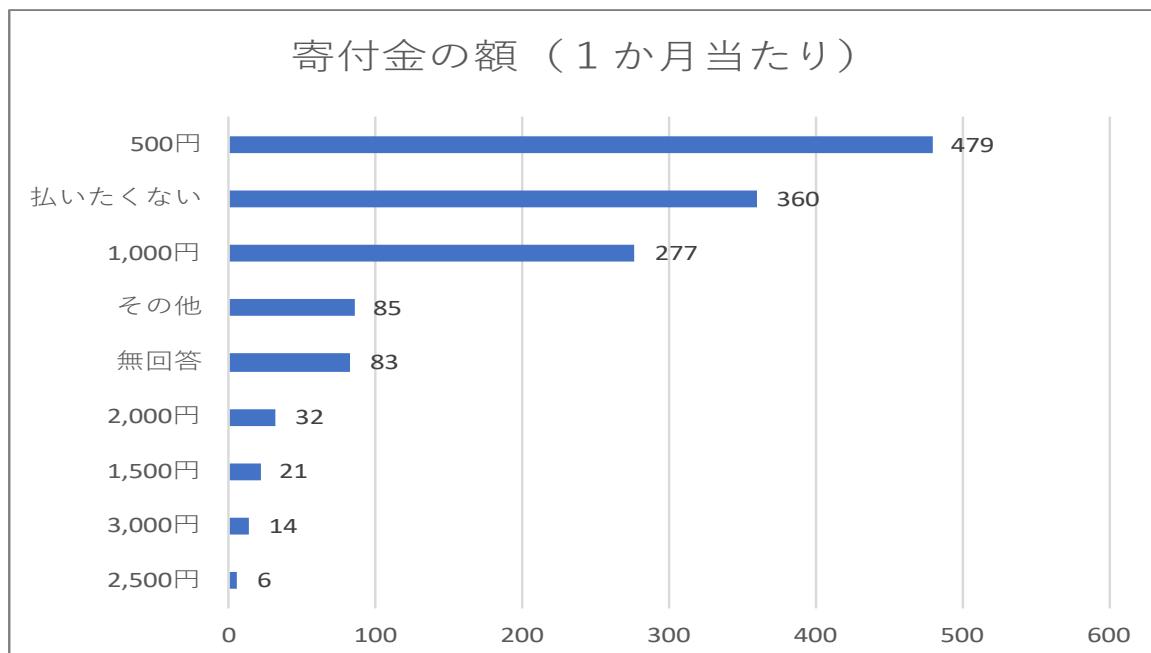


一か月あたりの定期券の金額



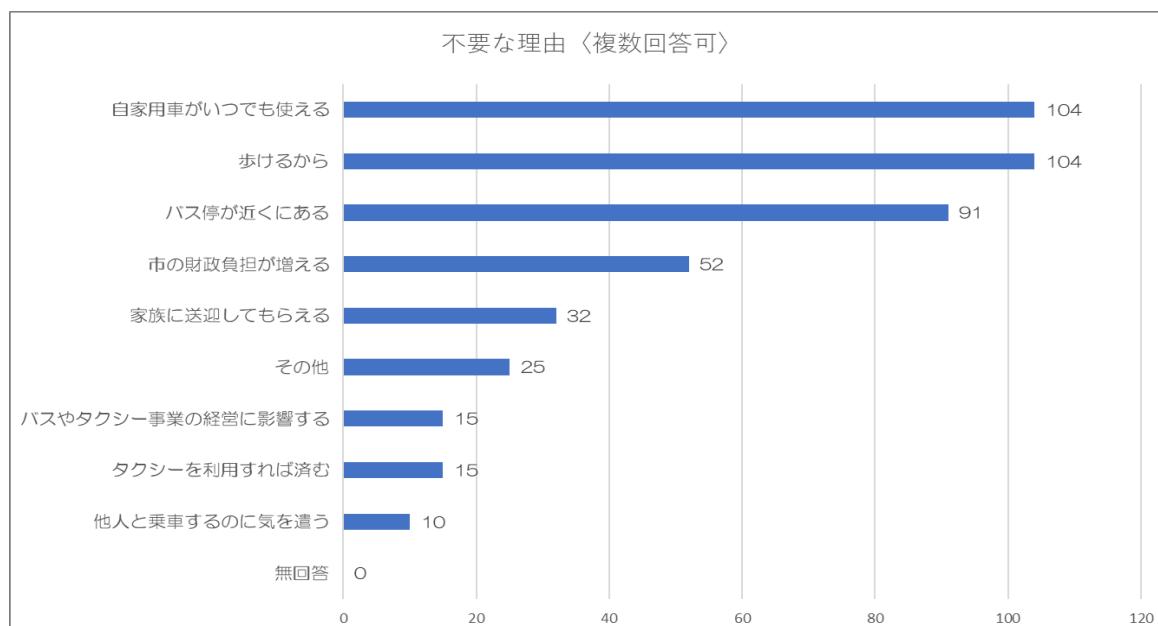
問 14 このような地域コミュニティ交通の運行を維持するために、運賃のほかに寄付金等を集めるとした場合、あなたは1か月当たり、いくらまでなら払っても良いと思いま
すか（一つ回答）。（回答後は問16へ進んでください）

- 500円 1,000円 1,500円 2,000円 2,500円 3,000円
その他（ ） 払いたくない



問 15 地域コミュニティ交通が不要だと思う理由は何ですか（複数回答可）。

- 歩けるから バス停が近くにあるから 自家用車がいつでも使えるから
家族に送迎してもらえるから タクシーを利用すれば済むから
他人と乗車するのに気を遣うから 運行を維持するのに市の財政負担が増えるから
バスやタクシー事業の経営に影響するから
その他（ ）



問 16 今回の実証実験を含めた地域コミュニティ交通について御意見、御感想などをお聞かせください。

○肯定的意見

*今は必要ではないが、自動車に乗れなくなったときは非常にありがたいシステムだと思います。

*今現在60代なので自力で運転できるのであまり必要性を感じないが、80代になつたら免許も返納するだろうし公共交通機関だけでは不便で仕方ないと思う。やはりタクシー等を利用せざるをえないだろうが、タクシーよりも安い地域コミュニティ交通は必要になると思う。

*便利で無駄のない協力し合える交通

*歩行が不自由になったら用足しに便利だと思う（自宅玄関まで）。今は歩けているが、具合が悪く、タクシーを頼めないほどの近場の病院受診時はとても助かると思う。

*足などが不自由な人には良いのではないか。

*現在必要が無いと思っても、歩行困難になったら必要です。ぜひ継続してください。

○否定的意見

*住居が利便性がありバス利用も便利。商店も徒歩で十分行ける。買物もネットスーパー、宅配サービスも利用できるので不便を感じない。病院へはタクシーを利用する。

*今回のように狭い範囲で考えるのではなく、もう少し広い範囲で考えてほしい。 *もし自分がチョイ乗りが必要な状態になったら、果たして今の自宅で生活しているかどうか…そして多分宅配等の別の方法を利用しているか（自力で）

*これから必要になるかもしれません、現在は必要を感じていません。特に行きたい場所も含まれていません。全部徒歩で歩ける範囲ですので。

*税金で運行するので、これ以上若い人に負担をかけたくないから。

*住居地にバス（小型）が入ってほしくない。買物なら宅配があります。

*ないよりもあったほうが、必要としている人にはいいかも位の考え方。どれだけの人が必要としているのか不明。

*自転車で行ける範囲の運行は利用する価値がない。運行するならば、厚木市全域を循環するとか、海老名へ直通するとかの交通にしてもらいたい。そうでなければ利用者が少なく税金の無駄になるので、市民の福祉に役立つことに資金を使ってもらいたい。

*現時点では必要ない。利用者のお困りごとに対応するのは良いが、少人数の場合はどうするのか。

*この先体が弱ったり、自家用車を手放しても鳩尾は不要と思う。スーパー等が近い。

*ルート範囲が短すぎる。

*ちょい乗りで100円は高いと思う。

*コミュニティバスを見かけましたが、誰も乗っていませんでした。時間が決められているため、仲間で出かけてします。

*地域コミュニティ交通は意味がない。厚木市の場合、電車とバスに公共交通機関を各1社ずつに頼っている。地方都市の現状と変わらない。地下鉄、路面電車、モノレール、ケーブルカーなど生活に密着した移動手段を考えてほしい。

○その他の自由意見

*今回の実験、テストルートでどれだけの人が利用したのか。

*時間に余裕のある人しか乗らないので、午前2便、午後2便くらいで無料運賃がよい。

*誰からの要望があってこの実験になったのでしょうか。実験地区に必要性を感じている人が多いのですか？（パンフレットに記載があればよかったです）

*バス路線の中で、荻中から鳩尾5丁目に入って4丁目を通る路線があればだいたいの移動ができるイメージで、特にコミュニティバスを新たに運行する必要性を感じられない。この路線があれば鳩尾ルートの場合設問に乗っていたどこにでも行けるので

はないか。鳶尾ルートの中で何度も同じところを回るのは時間の無駄を感じる。こうなるとなくとも思ってしまいます。

*まつかけ台に親類があり、高低差がきつく、スーパー等も遠いのであった方が喜ばれると言っていた。

*今のところバスや主人の障害によりタクシー券があるので利用させてもらっているので助かる。

*このルートは歩いて行ける範囲なので広げてほしい

※1 地域コミュニティ交通とは

日常生活で移動に不便を感じている方が利用できる交通システムで、地域包括ケア社会（※2）の実現と、コンパクト・プラス・ネットワーク（※3）を基本とした集約型都市構造の構築など、将来の都市構造に適合した、厚木市らしい地域の移動システムのこと。

※2 地域包括ケア社会とは

誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる社会のこと。

※3 コンパクト・プラス・ネットワークとは

居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能を集約・誘導し、それと連携した持続可能な地域公共交通ネットワークを形成する都市構造のこと。



御協力ありがとうございました。